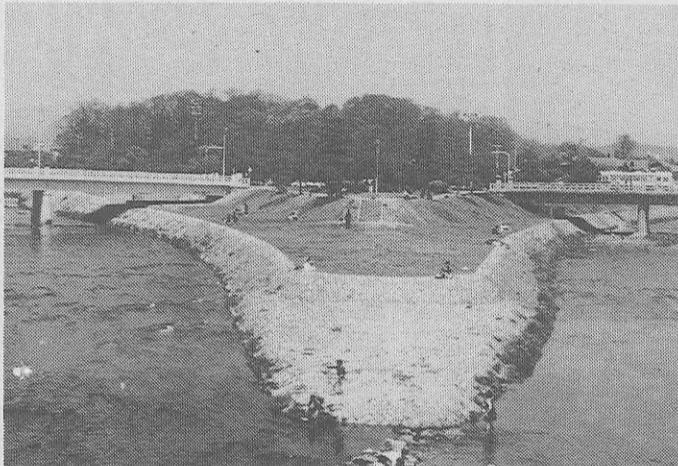




鴨川と高野川の合流点の北にある鴨神社の森の南部に接する河合神社の優雅な一画がある。この辺りから本社までを祀ったすの森と呼ぶ。森の北部が下鴨神社である。賀茂云説によれば、賀茂の祖神建身命(タケシスミノミコト)の娘玉依姫(タマヨリヒメ)が頬見の小川(森の東を流れる小川、みだりい川)で朱塗りの矢松尾明神、火雷命ホノカズチノミコト)を拾い枕えにおいていたところ、懷妊して別雷命(ワケイカズチノミコト)を生んだ。この神は上賀茂神社にまつられ、その親をまつたので御祖神社という。この伝説は賀茂氏と松尾の奏氏との提携を示すものであろうか。上下の両社は古くは古社で、都が京都に遷つて以来、平安京鎮護の神であった。

本社は朱の桜門、四廊の中由木造の諸社殿がある。本殿(棟国宝、江戸期)は文久三年(一八六三)の建造、大きい流れ造りの社殿で、旧来の様式(桧皮葺の向拝を長くつけている)を伝えており、伊勢神宮の神明造りなきの直線的な謹慎に比して美しい。

葵祭り(賀茂祭り)は祇園祭り、氏神である。



下賀茂神社の森 (筆者うつす)

一、昭和五八年一月一日以降、毎

## お知らせ

元離宮・三条城事務所では、城内に整備のため休城日を設けることにあつた。

月曜日が祝祭日または振替休日の時は休城しない。

二、開城時間は午前八時四十五分から午後四時。

三、開城時間は午前八時四十五分から午後四時。

月曜日が祝祭日または振替休日の時は休城しない。

月曜日が祝祭日または振替休日の時は休城しない。